共立女子学園報61

2020年4月

共立女子大学
ビジネス学部ビジネス学科
2020年4月　開設!

学園長・理事長メッセージ

新しい教育・研究環境のさらなる整備・充実へ向けて

学校法人共立女子学園
学園長・理事長　御手洗 康

2020年4月より、私立学校法が改正されました。今回の法改正では、「学校法人は、自主的にその運営基盤の強化を図るとともに、その設置する私立学校の教育の質の向上及びその運営の透明性の確保を図るよう努めなければならない」とされています。

ガバナンス強化については、①中期計画の策定　②役員の責任の明確化　③監事機能の充実　④評議員会の機能の充実などが規定されました。今後一層、理事会・評議員会等のガバナンス機能の強化とコンプライアンスの確立に努め、これからの時代に即応した教育機関として期待される役割と責任を果たしてまいります。

本学園では、設置各校でビジョンを定め、2018年度からの「第二期中期計画」に基づき様々な取り組みを進めています。3年目を迎える現在、各校においては以下のような取り組みを形にしています。

大学では、2020年4月、女子大初となるビジネス学部が誕生しました。経営学や経済学をはじめとした幅広い専門知識の修得とリーダーシップ教育を両輪として実践的に知識とスキルを磨く、新しい時代に相応しい学部です。同時に、3つのビジョン「自律と努力」、「創造とキャリア」、「協働とリーダーシップ」に基づき大学・短期大学の教養教育科目の大幅な改編を行い、全学共通副専攻制度を導入しました。

中学高等学校では、大学との連携も含め、学部や地域社会と連携したアクティブ・ラーニングをベースとする取り組みが進められています。「時代を超えて“輝き、翔ばたく女性”を育成する」というビジョンが、生徒たちの積極性をあらわしています。

第二中学校高等学校では、2021年度から英語コースを設けるなど、グローバル社会を見据えた独自のカリキュラムの編成に努めています。ビジョンに掲げる「咲き誇る未来」を目指して、八王子の豊かな教育環境が新しい取り組みを支えます。

幼稚園でも、新しい教育要領に基づき伸びる力・育つ力・求める心を大切に、明るく健やかで楽しい保育を実現し、「子ども達一人ひとりの生きていく力」を育んでいます。

「女性の自立と自活」を建学の精神とする女子教育の総合的教育機関として、本学園では「第二期中期計画」に基づき、先進的な教育の推進とそれを支える環境整備に、一層努めてまいります。

学長メッセージ

「リーダーシップの共立」

共立女子大学・共立女子短期大学
学長　川久保 清

本学では、2016年度から全学共通科目（教養教育科目）において「リーダーシップ開発講座」を設け、リーダーシップ教育を推進しています。ここで言うリーダーシップは、日本で一般的に「リーダーがグループをマネジメントする時に発揮する」と考えられているものではありません。リーダーというポジションではなく、チームとしての成果を生み出すために、メンバーそれぞれが互いに目標を共有し、率先して動き、人を巻き込み助け合うことで、チームにポジティブな影響を与えていく力を発揮することと捉えています。これは、世界やグローバル企業では、標準的な考え方となっています。

この流れを受けて、2020年4月に開設した女子大初となるビジネス学部でもリーダーシップ教育がコアカリキュラムの一角を成しており、全学的なリーダーシップ教育もさらなる推進を図っているところです。

同じ2020年4月より刷新した教養教育では、「リーダーシップ」を副専攻とする、全学副専攻制度を導入。「Major in Anything. Minor in Leadership.（主専攻は様々な専門分野、副専攻はリーダーシップ）」というキャッチフレーズを掲げることといたしました。

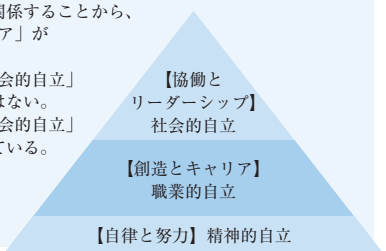
共立女子大学・共立女子短期大学ビジョン（KWUビジョン）では、3つのビジョンにそれぞれ以下のような意味合いを込めています。「自律と努力」は精神的自立を念頭に、「創造とキャリア」は職業的自立を念頭に、「協働とリーダーシップ」は社会的自立を念頭に策定したものです。また、精神的自立は、他の自立の基礎をなす概念、社会的自立は、精神的自立と職業的自立の達成無くしては成り立たない、他の自立の上位概念と捉えています。

「リーダーシップの共立」というキャッチフレーズが似合う教育研究と環境づくりは、既にスタートしています。多くの卒業生や在学生が、社会で自信を持って活躍できるリーダーシップを身につけること、そしてその姿に憧れを抱く中高生がますます増えることに期待しています。

（図1）

KWUビジョン：「協働とリーダーシップ」、「創造とキャリア」、「自律と努力」

▶「自律と努力：精神的自立」は他の自立の基礎である下部構造をなす。
▶「自律と努力：精神的自立」をなくして「創造とキャリア：職業的自立」は成立しない。
▶「創造とキャリア：職業的自立」をなくして「協働とリーダーシップ：社会的自立」は成立しない。
▶「協働とリーダーシップ：社会的自立」がなされているかどうかは、社会との関わりや他者との協働が関係することから、「職業的自立：創造とキャリア」がなされていれば必ず「協働とリーダーシップ：社会的自立」が達成できるというわけではない。
▶「協働とリーダーシップ：社会的自立」を最終的な目標と位置付けている。



「リーダーシップの共立」へ向けた取り組み

共立女子学園では、大学・短期大学でのリーダーシップ教育を全学的な取り組みへとつなげ、強化・推進しています。
これからの時代に求められる新しいリーダーシップ教育が、本学を起点として広がりつつある現状をご紹介します。

教養教育の改編に伴う2020年度からの全学共通副専攻制度の導入について

Major in Anything. Minor in Leadership.
（主専攻は様々な専門分野、副専攻はリーダーシップ）※

共立女子大学・共立女子短期大学では、2020年4月より、新しい教養教育がスタートします。
大幅な改編となる教養教育は、大学・短期大学ビジョン（KWUビジョン）に掲げる「自律と努力」、「創造とキャリア」、「協働とリーダーシップ」を踏まえ、KWUビジョンの基盤となる能力を養成することを目的に編成しています。
「何を学び、身に付けることができたのか」という学修者本位の視点に立ち、社会に対し説明し納得が得られるカリキュラム構成としたことも特長となっており、「自律と努力コア」「創造とキャリアコア」「協働とリーダーシップコア」それぞれの科目を履修して各学部・科が定めた教養教育としての卒業要件を満たし、教養教育の人材養成目的を達成した場合、教育プログラムの修了を認定する「修了証明書」を授与することとなりました。修了証明書の授与で、全学共通の副専攻を修めたことを証します。
副専攻の名称については、上位目標となる「協働とリーダーシップコア」の目標が「他者と協働し、リーダーシップを発揮するための基礎的な能力を養う」としていることを踏まえ、全学共通副専攻「リーダーシップ」としました。
（副専攻は修得を義務付けるものではありません。所属する学部・科等で副専攻やダブルメジャー等の修得もあり得ます。）

※所属する学部・科等の体系的にまとめられた教育課程に沿って学修する内容を主専攻とし、体系的にまとめられた教養教育の教育課程に沿って学修する内容を副専攻とする、全学生を対象とする副専攻であることを意味します。

「リーダーシップ・キャラバン」の開催について （2020年秋に開催予定）

共立女子大学・短期大学では、今秋「リーダーシップ・キャラバン」の開催を予定しています。
複数日にわたり様々な企業や大学・高校等が一同に会する場として多彩なコラボレーションが期待されると同時に、世代をこえた多数の参加者による社会課題の解決を目的としたグループワーク等への取り組みを通して、リーダーシップ教育のさらなる発展が期待されます。どうぞお楽しみに!

冬季講座『未来食堂へ行こう!【打ち豆編】』

共立女子中学高等学校では、近隣にある「未来食堂」のメニューを提案する企画「未来食堂へ行こう!」を夏季講座に続いて開催しました。今回新しい試みとして、中高大連携の取り組みを視野に入れ、共立女子大学でリーダーシップ開発講座を受講している学生をファシリテーターとしました。また、大学が福井市との連携協力でメニュー開発に使用した郷土食材「打ち豆」を統一テーマとしました。店主の小林さんや大学生のサポートを受け、無事3種類のメニューが採用され、多くの方に味わって頂けました。

共立女子大学×熊本県立第二高等学校「高大連携リーダーシップ研修会」

2020年1月20日（月）、熊本県立第二高等学校1年生の皆さんをお招きして「高大連携リーダーシップ研修会」を実施しました。ビジネス学部の岩城奈津専任講師が統括責任者となり、教養教育科目で「リーダーシップ開発講座」を受講してきた在学生がラーニング・アシスタント（LA）としてワークショップの支援を行いました。全参加者がリーダーシップの最小三行動＜目標共有＞＜率先垂範＞＜相互支援＞を意識して取り組み、真剣なまなざしと笑顔にあふれた、実りある研修会となりました。

家政学部

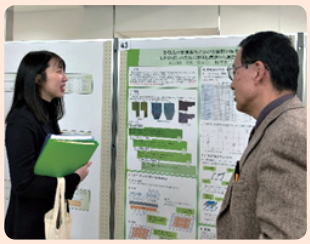
学部長交代にあたってのメッセージ

本学家政学部は昨年創設70周年を迎えた歴史ある学部で、今まで社会に貢献しつつ自立して生活している様々な人材を輩出してきました。家政学は生活に密着しており、生活者の視点から人が社会でより良い生活をしていくための研究をしている学問です。また、人は一人では生きていけません。人は他の人や地域と連携することで豊かな生活が実現されます。学部・研究科では、そのために必要な教育研究について日々検討し逐次実施しております。衣食住そして生きていく基礎をつくる次世代の子供達の教育・研究を通して、個人が社会で生きていく力となる教育、地域社会で活動できる人材を養う教育を目指しています。

（家政学部長　堀　啓二）

家政学部被服学科の学生は、4年間にわたる学びの成果の集大成として、4年次に卒業研究として、卒業論文・卒業制作・卒業演習のいずれかを選択し、一年をかけてその完成を目指して努力します。2019年度は1月25日に共立講堂において卒業制作発表会（ファッションショー）を行い、また2月3日には卒業論文・制作・演習発表会（口頭発表・パネル発表）を行いました。ともに学生たちの努力と熱意が伝わる素晴らしい成果発表となりました。

（教授　長崎　巌）



食物栄養学科では、毎年1月に4年次の学生の卒業論文および卒業演習の発表会を開催しています。2019年度は、1月12日に53演題の発表が行われました。この発表会は、伝統的に学生が主体となって運営するもので、4年生の11月から総務担当の学生が中心となって準備を始めます。この科目は食物学専攻のみ必須ですが、管理栄養士専攻でもほとんどの学生が選択しています。発表会当日、1年間の研究成果を発表し質問にもしっかり答えている学生たちを見て、4年間での成長が感じられました。（学科主任　教授　熊谷　仁）

建築・デザイン学科は生活に根ざした「空間」「もの」「情報」を実際にデザインし、つくることができる人材を育てています。また建築・デザインには解答がありません。そのため様々な案の中から最終案を自ら見つけ、それを的確に相手に伝える必要があります。それを身につけるため与えられたテーマに対して自ら課題を定義し解決していくアクティブラーニング型の演習を中心にカリキュラムを構成し指導を行っています。案は時間をかければかけるほどよくなります。その集大成が卒業制作です。その成果を毎年2月に卒業制作展を行い公開しています。建築コースでは非常勤の先生方を審査員とした公開審査会で様々意見をいただいています。2020年度からアクティブラーニング型の演習のさらなる充実を図った新カリキュラムが始動します。

（家政学部長　堀　啓二）

家政学部児童学科は2007年4月に開設され、2020年度で14年目となります。児童学科スタート時から造形教育の専門家として学科を支えてくださった安田悟教授が2019年度をもって定年退職となられました。安田教授は造形の専門家の立場から大学にさまざまな貢献をしてこられましたが、中でも発達相談・支援センターの子育てひろば「はるにれ」のマスコットデザインを製作くださったことは特筆すべきことです。ちなみに、このマスコットは春楡の種をモチーフにされました。

さて、この子育て広場の名称の由来についてもご紹介しておきたいと思います。児童学科創設メンバーのお一人である故入江礼子教授（2019年4月26日ご逝去）が、寒い冬の間も地中深くに根を張ってたくましく育つ春楡の木のイメージから、子育て広場の名称を「はるにれ」とご提案され、さらに、家政学部長（当時）の戸田泰男教授が保育室のシンボルとして、春楡をイメージした柱をデザインしてくださいました。

このように2020年3月をもって児童学科を支えてくださった先生方が共立を去って行かれることは大変悲しいことですが、先生方が残してくださった作品の数々がこれからも学生たちや教職員を温かく見守ってくださることと思います。　（教授　白川佳子）

子育て広場「はるにれ」の保育室

はるにれの
マスコットキャラクター

文芸学部

マラナタキリスト教大学（インドネシア）との国際交流会

マラナタキリスト教大学美術デザイン学科のワワン・スルヤナ教授、イスメット・ザイナル・エフェンディ教授による講演会が令和元年12月4日に行われ、インドネシア美術における神話的モチーフや、伝統的な舞踏についてお話いただきました。実演（インドネシアの獅子舞）も交えた内容に参加した学生も引き込まれている様子でした。同大学で美術を専攻する学生も来校しており、講演会終了後の懇親会では文芸学部学生と和やかかつ活発に交流する様子も見られました。

（専任講師　渡部　直）

講演を行うイスメット教授

十二単の着装体験

令和元年12月19日、平安時代の文学関連科目の特別授業として、ハクビ京都きもの学院の乃村宣子院長先生をお招きし、十二単の着装に関する講義及び着装見学が行なわれました。十二単は平安時代の女性の正装ですが、資料集ではつかみきれない服飾を立体的に、視覚的に、細部にわたる説明をお聞きしながら、把握することができました。学生がモデルとなり、その本人はもちろん、見学する学生たちも目を輝かせながら授業に臨んでいました。

（教授　岡田ひろみ）

学生モデルによる着装体験の様子

国際学部

学部長交代にあたってのメッセージ

2020年、国際学部は創立30周年を迎えます。私が専門とするドイツの歴史に重ねると、ちょうど東西ドイツ統一の年に私たちの学部も産声を上げました。

ドイツはこの30年、EUの中心として存在感を高める一方で、近年では国内外での反発も強まっています。日本もまた、「グローバル化」が世界をより緊密に結びつけ、新たな可能性を開く分、課題もまた大きくなる状況に直面しています。解決策は容易に見出せませんが、いずれにしても一国だけで克服できるものではありません。今後ますます、「世界の中で生きる自分」という視点から考えることが必要になります。

国際学部では、昨年度一期生を送り出したGSEプログラムなど、教育と研究の一層の充実を図り、社会に広まる不安を冷静に捉え、可能性を見出し、希望を持ちうる人材の養成に努めていきます。

（国際学部長　西山暁義）

国際学部では2020年1月25日（土）に、４年生による卒研発表会が開催されました。

当日は25のゼミが８つのグループに分かれ、10時から16時近くまでの長丁場、発表と質疑応答を行いました。教員だけではなく学生たちも、他のゼミの報告に対し積極的に質問していました。

GSEプログラム第1期生の４つのゼミも、全員英語で書いた卒業研究について、発表と質疑を英語で行いました。

学長の川久保先生にもお忙しい中お越しいただき、一部ご覧いただきました。

（国際学部長　西山暁義）

看護学部

看護研究法Ⅱ（卒業研究）・卒業研究発表会

看護学部では、毎年4月から4年次生の学生の希望する領域のゼミナールに配属されて看護研究法Ⅱ（卒業研究）の授業が始まります。学生一人ひとりの興味関心のある分野で担当の教員の下で文献検討やディスカッションを基に学びを深めていきます。その後、アンケート調査やインタビューなどの手法を用いてさらに学生の疑問や解決したい事柄を深く探求していきます。学生は、4年次の臨地臨床実習や就職活動、さらに翌年2月に実施される国家試験などを並行しながら、忙しいながらも4年間の学修の集大成として熱心に看護研究法Ⅱ（卒業研究）に取り組んでいました。

そして、2019年度は、11月16日（土曜日）に卒業研究発表会を実施しました。この発表会は学生が主体となって運営するもので、前日から会場設営からポスター掲示まで準備をします。発表会当日、4年生全員の学生が、看護研究法Ⅱ（卒業研究）の学習成果を発表し、かつ質問にもしっかり答えられていました。学生たちを見ていると、4年間で大きく成長したことを感じました。

（教授　久保正子）

卒業研究発表会の学生の様子

ビジネス学部

ビジネス学部が目指す教育

＜東京の真ん中で、ビジネスを。＞

本学の際立つ好立地をキャッチフレーズにした「共立女子大学ビジネス学部」が、2020年4月、誕生しました。女子大初となるビジネス学部の開設にあたり、多くの方々よりご協力・ご尽力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

社会は急激に変化していますが、AIやロボットの進化は特に目を見張るほどで、その加速度は増していると言えます。労働の代替や雇用の補完が促されるだけでなく、新しいサービスや価値が生まれたり、長時間労働を前提としない働き方が促進されたり、女性や高齢者の活躍の場が拡がることなども期待されています。このような時代に対して、我々人間は、受け身にまわるのではなく、主体的に新たな未来を創造していく立場に立つことが大切です。関心や意欲の度合いを加味した推論を立てたり、豊かな感性に基づき、相手の意を汲んだコミュニケーションを図ったり、他者との協働の中でリーダーシップを発揮するなど、人間ならではの個性や能力を十分に発揮することが重要です。

ビジネス学部の教育内容のコンセプトは、「『卒業してから』を、考え続ける学部」ということです。「経営」「法律」「マーケティング」「情報・統計」「経済」「会計」といったビジネスの基本知識を学修するとともに、チームの成果を生み出すために、率先して動いたり、相互に支援し合ったりすることで、チームにポジティブな影響を与える、世界標準のリーダーシップを身に付けますが、それらの修得にあたっては、卒業後シームレスにビジネスの世界で活かせるために「実践性」を重んじています。学部名称もこれに由来しビジネス学部と命名しています。

ビジネスの最先端である東京・丸の内・大手町にほど近いキャンパスを舞台に、将来、ビジネスの世界で、自分らしくリーダーシップを発揮できる人材を養成する。それが、共立女子大学のビジネス学部です。

（ビジネス学部長　植田和男）

生活科学科

２年生全員で作り上げる卒業研究・制作発表会

生活科学科では「卒業研究・卒業制作（卒研）」（４単位）または「卒業ゼミナール（卒ゼミ）」（２単位）のいずれかを履修することが必修となり、2019年度は、73人が卒研、31人が卒ゼミを履修しました。どちらの科目も、学生は研究室に所属して、興味を持ったテーマについて教員や助手の指導やアドバイスを受けながら、１年間をかけてじっくりと研究・制作を進めます。

研究や制作の成果は発表会という場で公開され、特に１年生にとっては次年度の準備の機会となります。卒ゼミは12月に2日間に分けて発表会を開催しました。また、卒研は、例年同様に学期末に丸1日をかけた発表会を開催しました。卒研の発表会は、卒ゼミ生が発表会運営スタッフとなることで、生活科学科の２年生全員が協力して作り上げる盛大な発表会となりました。発表会後は2号館ロハスカフェにおいて要旨集表紙デザインの表彰式を兼ねたティーパーティが催され、研究発表の緊張感から解放された笑顔が溢れていました。

口頭発表会場

ポスター発表会場

2号館ロハスカフェでのティーパーティ

「要旨集」表紙デザインの入賞者表彰

卒研、卒ゼミという期間も長く、自分が主体的に進める研究・制作を通して、他の科目で学んだ様々な知識や技術を活かして問題を解決することを体験して欲しいと願っています。

（教授　豊島　昇）

文 科

科長交代に当たってのメッセージ

短期大学には、入学する年と、卒業する年しかありません。いつも入学ガイダンスで新入生たちにこう述べています。昨年入学した学生は、今年はもう卒業生です。われわれ教員も受け入れる、送り出すを繰り返しながら学生たちと日々向き合っています。落ち着かないといえば落ち着きません。

しかし、この緊張感が学生たちの向学心・向上心を支えています。2年間で学業を修め、新しい進路を見いださなければならないのは大変なことです。戦いのような毎日に見えます。一人もこの戦いからドロップアウトしないように、文科長となりました今年度より、新たな気持ちで学生たちを支えていきたいと思います。

（文科長　髙橋　修）

文科の取り組み

あした役に立たないことを学ぶ、このことの価値はなかなか理解してもらえません。有用性の価値がまかり通っている昨今、実学の必要性と同時に心の豊かさを身につけるためにはどうしたらいいのか。試行錯誤が続きます。簡単なことではありませんが、考えるツールとしてのことばを学び身につけること、それが遠回りでも心豊かな生活に導いてくれると思います。毎日がその実践です。写真は文科の読書室委員会の活動ぶり。

（文科長　髙橋　修）

大学院

（学位授与日　2020年3月15日）

家政学研究科　論文題目一覧

	専攻	授与者氏名	論　文　題　目
博士前期課程	被服学専攻	小池　奏衣	大正時代のきものにおける新意匠の出現と普及　―「アール・デコ」の意匠を中心に―
		森　紗織	近代裁縫教育に見る女学校に関する研究　―共立女子職業学校を中心に据えて―
	食物学専攻	飯田季里子	大豆ペプチド"ルナシン"の抗腫瘍作用機構の解明
		佐藤　清香	食肉を用いた真空調理法に関する研究
	建築・デザイン専攻	佐藤　暖	共空間を持つ住宅の開きに関する研究
		五月女由佳	空きストックの利活用に関する研究　―関東近郊における芸術家の制作空間の使いこなし方―
		高橋　佳乃	多目的トイレの細分化の研究　―利用目的に合わせた快適な空間つくり―
		堀井　涼花	子どもの学習効率の向上を目的とした道具と環境の研究 ―花まる学習会のケーススタディーを通しての提案―
	児童学専攻	内田早穂子	特別支援を必要とする子どもたちへの造形表現活動の開発 ―シュレッダー紙吹雪の楽しさを味わう遊び活動の展開―
		山口　春花	「母親―子ども間」と「保育者―子ども間」の身体接触についての研究

文芸学研究科　論文題目一覧

	専攻	授与者氏名	論　文　題　目
修士課程	文芸学専攻	村上　倫子	『古事記』のテキスト生成の特徴についての考察　―援助する女の描き方を通して―
		樋口恵理子	劇場と都市
		坂本佳桜里	A Comparative Analysis of Harry Potter and the Philosopher's Stone and its Japanese Translation
		佐竹　繭	『源氏物語』「花宴」巻の扇
		髙橋　孝子	尾崎紅葉『金色夜叉』論

国際学研究科　論文題目一覧

	専攻	授与者氏名	論　文　題　目
修士課程	国際学専攻	岸本　芙蓉	超高齢社会における介護職の展望

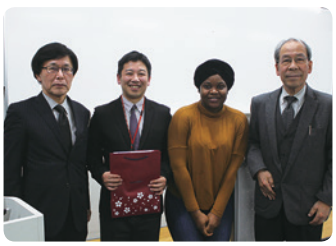
看護学研究科　論文題目一覧

	専攻	授与者氏名	論　文　題　目
修士課程	看護学専攻	安原　祐子	ストーマ保有者のセルフケアリスクを評価するための暫定版SSRAの検討
		山田　泰子	母子保健担当保健師の異文化間漢語能力の実態と関連要因の検討
		竹安　昌子	救命センターにおいて倫理的問題を抱える看護師に対する看護管理者の関わり　―M-GTAを用いた分析―

総合文化研究所

令和元年度に採択された研究助成は共同研究7件、個人研究5件あり、それぞれ鋭意研究が進められました。12月5日には、共同研究「共立女子大学図書館所蔵の古典籍の調査・整理・研究－日本文学・日本美術を中心として－」（研究代表者 文芸学部　岡田ひろみ教授）の一環として講演「新しい書誌学 和装本の料紙の世界」（講師　白戸満喜子先生）が行われました。なお昨年度は総合文化研究所の新たな取り組みとして、学部・科を超えて教員同士が研究上の交流を持つ場として「総文研フォーラム」を始めました。前期に共同研究助成受給者の文芸学部 北村弥生教授、後期に国際学部 西村めぐみ准教授が基調講演を行い、講演後は異なる分野の教員同士による活発な意見交換がなされました。

国際交流・留学



2020年1月29日（水）ベナン共和国特別留学生受入に携わるNPO法人IFE山道氏による学内の講演会「西アフリカ ベナン共和国と共立女子大学の交流」を開催しました。これまでのベナンにおける過去20年間にわたる初等教育の普及やリーダー層育成、産業支援について改めて理解を深める機会となりました。卒業生は、本学の非常勤講師、東京大学特任教授、在日ベナン共和国大使館通訳等、本学での経験を活かし活躍されているようです。　　学生課国際交流担当（国際交流室）

KWU Library Commons（Lib Commo）の電子図書館サービス

「人と人」「人と情報」をつなぐLib Commoは、学修・研究資料として本や雑誌の他、様々な電子資料の利用ができます。例えばeBook英語多読本はkyonetのLMS（学修管理システム）を活用しながら授業の課題図書として利用されています。また、学生図書委員会による電子図書館LibrariEの選書や電子雑誌「dマガジン」は、気軽に図書館を利用したい、様々な情報を知りたい学生のための資料となっています。

学園のシステム化の推進とともに学修・研究支援として電子図書館サービスの充実を行っていきます。

（図書課）

共立祭2019

2019年10月19日(土)・20日(日)に開催した「共立祭2019」には、たくさんの方々にご来場いただき、展示や公演をお楽しみいただくことができました。教職員及び来場者の方々による企画評価は、以下の結果となりました。　(学生課)

【展示部門】

1位　写真部／
2位　ファッション研究会／
3位　家政学部建築・デザイン学科デザインコース田中ゼミ

【パフォーマンス部門】

1位　フラ部／
2位　チアリーダー部／
3位　ファッション研究会

【特別賞】

チアリーダー部
(※来場者からの評価 第1位)

共立音楽祭2019

2019年11月11日(月)～15日(金)

昼休みと放課後のひととき、本館1階フロア全体が、音楽を嗜む在学生や教職員の奏でる様々な音楽で彩られました。　(学生課)

スポーツフォーラム2019

昨年度同様、講師にパラリンピック競技ゴールボール指定強化選手である山口凌河選手・宮食行次選手をお迎えしゴールボールに関する講演会・体験会を行っていただきました。講演会には「じんぼうチョウ」も駆けつけ、参加者と交流を行いました。

競技のことに留まらず、視覚障害者としての生き方についてご講演を受け、オリンピック・パラリンピックに対する理解や興味を得ると同時に多くのことが学べるスポーツフォーラムとなりました。　(学生課)

Stand Up! プロジェクト

ボランティア活動、留学生支援、学内イベント運営、地域活動などを学校支援のもと行う「Stand Up!プロジェクト」。2019年度は学生起案・職員起案合わせて以下の5プロジェクトが立ち上がりました。

・ロハスカフェとコラボPJ
・韓国語トークルームPJ
・高校生に体験授業をしよう！PJ
・ALコーチ育成PJ
・共立新入生のお悩み解決PJ

活動の成果報告会・懇親会も2月27日(木)に開催されました。2020年度も学生起案のプロジェクトを募集予定です。　(学生課)

共立女子大学・共立女子短期大学　社会連携トピックス

社会連携センター

＜自治体との連携＞

南三陸町と連携協定を締結し(2019年9月26日)、南三陸町 農林水産課長をお招きし、東日本大震災からの復興への現実や、水産養殖管理協議会(ASC)と森林管理協議会(FSC)の両認証を取得した世界初の自治体として、海や山の資源についてお話しいただきました。2020年度には、学生たちによる南三陸町フィールドワーク実施を予定しています。

＜企業との連携活動＞

私鉄系スーパーマーケット8社の共同出資会社である株式会社八社会と本学は、商品開発、学術推進、人材交流及び育成等を目的に、連携協力協定(2019年5月1日)を締結しました。本協定に基づき家政学部 食物栄養学科の学生が、米飯弁当(もち麦弁当)を共同開発し、昨年9月1日より首都圏私鉄系スーパーでの販売が開始し、これまで共同開発した米飯弁当は12月には販売累計10万個に達しました。3商品目の「揚げないカツのオムカツ丼」は、「惣菜・べんとうグランプリ2020」の「健康・ヘルシー部門」で優秀賞を受賞し、今年4月15日より再販が決定しています。

【販売概要】

◆販売期間：2020年4月15日(水)～5月31日(日)
◆販売商品：揚げないカツのオムカツ丼　　398円(税別)
◆販売店舗：(株)八社会に加盟 首都圏私鉄系スーパー(約330店舗)

揚げないカツのオムカツ丼

「朝日教育会議2019 共立女子大学フォーラム」開催！ 2020年1月26日(日)共立講堂

総合テーマ「自分らしく生きる～新しいリーダーシップを求めて」のもと、株式会社サイバーエージェントの藤田 晋 社長と同社の執行役員・採用戦略本部長を務める石田裕子氏をお迎えして開催した今回のフォーラム。

藤田社長による基調講演「インターネット時代に必要とされるリーダーシップ」に続き、藤田氏・石田氏に本学ビジネス学部の学部長である植田和男教授および岩城奈津専任講師が加わり、朝日新聞社 編集委員の 原 真人氏をコーディネーターとして、「AI時代を生き抜くリーダーシップ」と題したパネルディスカッションを行いました。

「女性の自立と自活」を建学の精神とする本学が今ビジネス学部でリーダーシップ教育を推進することは、本当の意味で本学の創立者たちの想いと現代の社会のニーズに応え女性の活躍の場を広げることに繋がると強く実感できるフォーラムとなりました。

「ホームカミングデイ2019」を開催しました！

2019年10月19日(土)に、「ホームカミングデイ2019」を開催しました。今年は本学卒業生でもある、ブライダルファッションデザイナーの桂由美様をお迎えし、ご講演をいただいたのち、懇談会を開催しました。先生と卒業生がゆっくりお話しすることができた有意義な時間になりました。また別日には、開催希望があった学部学科やコースごとで個別ホームカミングデイを開催し、大変楽しい時間を過ごすことができました。

(ホームカミングデイプロジェクト)

古本募金のお知らせ

古本募金とは、卒業生、教職員、在学生、保護者の方々からお送りいただいた本の買取金額が、大学への寄付金となるプロジェクトです。寄付された書籍は社会へ還元されるとともに、共立女子大学・共立女子短期大学の学修支援活動に役立てられます。

ご自宅では段ボール箱に詰めて申し込み(電話またはWEB)をするだけ。値段がつかない本は運営会社を通じて、児童福祉施設や高齢者社会福祉施設、図書館、海外の研究機関等へ寄贈することで、社会に役立てられるようリユースにもつながります。

古本募金Web：http://www.furuhon-bokin.jp/kyoritsu-wu/

学校法人共立女子学園
創立130周年記念事業
Books for All Project
[ブックス・フォー・オール・プロジェクト]

研修センター利用案内

避暑に、雪遊びに、お気軽にご利用いただけます！一般の宿泊施設よりもお得です。お誘いあわせの上、ぜひご利用ください。

軽井沢寮	
所在地	〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢字中谷地1178
アクセス	軽井沢駅→寮(徒歩約15分)

河口湖寮	
所在地	〒401-0320 山梨県南都留郡鳴沢村8532-56
アクセス	河口湖駅→富士緑の休暇村(バス25分)→寮(徒歩約25分)

＜利用料金＞(1泊2食付)

卒業生・家族・友人(女子)　4,000円
子ども(3歳～小学生)2,800円／本学学生2,500円

＜予約・問い合わせ先＞
ウィズ・ケイ事務センター　TEL 03-3237-2935

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月30日まで利用を休止します。

2019年度 学位記授与式・卒業式・卒園式について

本学では、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点に立ち、国や文部科学省、東京都ほか関連機関からの各種情報を踏まえ、学園各校において特別対応をとりました。大学・短期大学は3月15日(日)に予定していた学位記授与式を中止し、ホームページに学長からのメッセージ動画を掲載しました。この感染症のリスクが軽減した時期をみて、学位記授与式に代わる行事の開催も検討しています。中学高等学校は3月18日(水)に、第二中学校高等学校は3月17日(火)に、卒業式を行いました(両校ともご家族や下級生の参列は無し)。幼稚園は3月16日(月)に卒園式を行いました(ご家族2名までの参列)。

大学・短期大学

中学高等学校

第二中学校高等学校

幼稚園

中学高等学校　校長メッセージ

中学高等学校
校長　久永　靖史

パラリンピックを観戦する予定です

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが行われるため、学校行事もその影響で例年とは少し異なります。夏休みを７月16日からとし、オリンピックの開会式の前日までに夏季講座と中学１年の蓼科研修旅行を終了します。これは、大会期間中は公共交通機関や道路の混雑が予想されるためです。また、高校１年２年の希望者対象の夏季海外研修(カナダ・ニュージーランド)は、オリンピックとパラリンピックの間の期間に、ほぼ例年通りの内容で実施します。

本校は「よういい、ドン！スクール」の認定を受けており、その一環としてパラリンピックの観戦ができる予定です。各学年50名(引率者を含む)ずつ６学年に割り当てがあり、パラ卓球、パラ柔道、パワーリフティングなどの競技を観戦します。

新型コロナウィルスの感染拡大の影響で、昨年度末の学校行事は中止や延期を余儀なくされてしまいました。感染が沈静化し、今年度の学校行事が予定通り行われることを願っております。

第二中学校高等学校　校長メッセージ

第二中学校高等学校
校長　晴山　誠也

第二高校創立50周年を迎えて

今年度、第二高校は半世紀の節目の年となります。時代は大きく変化しましたが、開校当時から掲げてきた方針「心と心がふれ合う教育」は今も変わることはありません。

本校が、今特に力を入れている3本の柱が「英語・国際・探究」です。

英語においては4技能統合型授業を5年前から始め、英語を自身の言葉として使える基礎を築かせています。ニュージーランド姉妹校との交換留学やターム留学等と連携させ、異文化理解とともに語学力のさらなる向上を目指しています。

3年目となる「共立探究」では自ら設定した課題研究に取り組み、グローバル時代を生き抜く論理的思考力、問題解決力を養っています。

さらに来年度からは、英語の大幅増単、ターム留学の必須化などよりきめ細かな指導のもと、グローバル人材の育成を目指した「英語コース」を新設します。

これらの実践により、自ら考え発信し、他者を理解し共生できるリーダーの育成に努めてまいります。

大学の調査によると、本校出身の学生の意欲や積極性を示す指標に高い数値が出ているという報告がありました。生徒たちの持ち味を活かし、さらにその先につなげていくよう、教職員一同力を尽くしてまいりたいと思います。

幼稚園　園長メッセージ

共立大日坂幼稚園
園長　上野　純子

未来に繋がる根っこを育てる

幼児を取り巻く環境や社会状況が目まぐるしく変化している中で、2019年10月には、「幼児教育・保育の無償化」が始まりました。幼児教育の重要性に鑑み、すべての子どもたちが質の高い幼児教育を受けることができることを願い、制度化されたものです。これにより幼稚園は、今後も教育機関としてその質の向上が重要な命題であると捉えます。

本園では、以前から遊びを重要な学習として位置づけ、学力のように数値化しにくい「非認知能力」の育ちを遊びの中で育んでいくことを大切にして参りました。毎日、子ども達が好きなことを自由な環境の中でとことんしている中には人と人、人と物との関わりがあります。体験を繰り返して、生きる力の基礎を形成していきます。幼児期にこそ育てなくてはいけないその根っこを築いた子どもたちは根を広げて、逞しく未来に繋がる力を蓄えます。

今年度も教育力を高めるために多くの方と連携して環境を整え、幼稚園教育を実践してまいります。

中学高等学校

国際交流部　海外研修

中高に国際交流部が新設されて4年目を迎えました。本校のグローバル教育を発展させるべく、様々な活動や企画の運営をしております。中でも、海外研修の機会を大幅に増設しました。現在6カ国9都市に訪れ、ホームステイを中心にした英語研修ができるようになりました。

共立女子の海外研修プログラム

・ニュージーランドショートターム留学プログラム（約60日間・高1・最大10名）	・韓国（パジュ英語村）春季研修　（約1週間・中1～中2・20名）
・カナダロングターム留学プログラム（約10ヶ月間・高1・最大2名）	・シンガポール春季研修　（約10日間・中2～中3・40名）
・中学カナダ／ニュージーランド夏季研修（約2週間・中2～中3・各20名）	・オーストラリア（パース）春季研修　（約10日間・中3～高1・45名）
・高校カナダ／ニュージーランド夏季研修（約3週間・高1～高2・各24名）	・イギリス（コベントリー）春季研修　（約10日間・高1～高2・20名）

バトントワーリング全国大会16年連続出場

高校バトン部では、毎年テーマの異なる作品を一曲、約半年間かけて躍り込み、全国大会での金賞受賞を目指して活動しています。2019年度のテーマは「友情」でした。「友情」を踊りの中で体現するためには何が必要なのか、日々の活動やミーティングで深めていき、12月に幕張メッセで行われた第47回バトントワーリング全国大会では銀賞を受賞し、僅差で金賞に手が届くという結果でした。バトンを通じて、礼儀やマナー、人間関係を学び、社会に出てからも通用するような力を養っていけるよう、今後も邁進して参ります。

「令和元年創部　中学古典文化部」

令和元年度に創部された、中学で一番新しい部活です。瑞香庵や普通教室に畳を敷いて活動しています。活動内容は競技かるた中心ですが、囲碁や将棋などの古典遊戯も学べます。大会や外部の練習会にも参加しながら、昇級・技術向上を目指して精力的に取り組んでいます。経験者もいますが、今年から始めた人が大半です。和やかな雰囲気ですが、練習が始まると真剣に取り組んでいます。シーンと張り詰めた空気の中、読まれた最初の数文字を集中して聞き取り、一気に札を払います。自分の好きな札が取れた時や、勝負に勝てた時の嬉しさはひとしおです。

新しくなったニュージーランド留学「ターム留学」

中高では4年連続ニュージーランドへ2ヶ月程度の留学を実施していますが、2年前から北島のニュープリマスに滞在先を変更し、1月末から4月上旬までの約9週間を過ごす内容になりました。今年は2つの学校に5名ずつ、計10名の生徒が留学しており、校内SNSで毎日詳しい近況が英文で中高へと届けられています。海辺の町、穏やかな気候の恵まれた環境の中で、授業に、アクティビティに充実した生活を送っています。帰国後の生徒が、これまで以上に国際的な視野を広げると同時に、国際社会で活躍できるきっかけになればと大いに期待しています。

第二中学校高等学校

白亜祭

第49回白亜祭は、「百花繚乱」をテーマに9月14・15日開催されました。大賞には、中学3年の「百華事典」が選ばれました。一人一人の生徒が自分の関心のある事柄を調べ、発表するという企画でした。生徒会執行部では、今年から中庭ステージの配置を変更し、来場されたお客様が中庭に直ぐに出られるように工夫しました。ステージは途切れることなく、各発表団体の企画の宣伝や応援を軸に文化祭を盛り上げました。好天に恵まれ、お客様も生徒たちも活き活きとしていました。

高大連携キャリア教育講座

高校3年生の1月の特別編成授業において進路決定者を対象に、今までのキャリアを振り返り、大学から社会、そしてその後と、それぞれのキャリアデザインを考える授業を展開しました。その一環で併設校の強みを生かし共立女子大学・就職進路課統括課長をお招きし、「働く」ということの意味、就職状況、就職活動、社会で求められる力などをお話し頂きました。とても反響が大きく、自分と向き合うことの大切さ、自立、職業観、それぞれの役割や価値、将来を考える良い機会となりました。共立女子学園の建学の精神は「女性の自立と自活」。生徒たちには責任をもって主体的に人生を選択してキャリアを積み重ねて欲しいと願っています。

中学3年職場体験

11月21・22日の2日間、中学3年生を対象に針路プログラムの一環としての「職場体験」を実施しました。体験先となった幼稚園、ペットショップ、図書館、警察署、病院、花屋、結婚式場などへの受け入れ依頼は、生徒自身で行いました。多くの職場に協力していただき、学年全員で取り組むことができました。物流の仕組み、命の大切さ、挨拶の大切さ、何事も丁寧に準備をして取り組む姿勢の大切さを、まさに体で感じ取ってきたようです。有意義な2日間を通して、自分で考え行動し、自分の将来を選択する力を伸ばすことができました。

高校テニス部

高校テニス部は、9面あるコートのうち、おもに4面を使用し、基礎練を中心にラリーや試合形式などの実践も多く取り入れ練習しています。本校中学テニス部出身の生徒はもちろんのこと、高校からの新入生を交えて、経験者や初心者関係なく活動しています。部員たちは、団体戦や個人戦での4回戦進出を目指しており、中には本選出場を成し遂げる部員もいます。恵まれた環境のもとで存分にテニスに打ち込めることが魅力であり、互いに切磋琢磨し合いながら日々技術の向上に励んでいます。

共立大日坂幼稚園

異年齢の関わり

子ども達の遊びが活発になり、学年を越えての関わりが増えてきました。園庭では、サッカーやラグビー、砂場での川作り、氷鬼、花いちもんめなど一緒に遊ぶ中で、年上の子どもがルールやグループ分けの仕方を教えたり、上手な川の作り方を見せてあげる場面があり、年下の子ども達は憧れを持ってお兄さんお姉さんの真似をする姿も良くみかけます。大好きな大縄跳びでは、年長組が縄を回してあげたり、二人で一緒に跳んだりして仲良くなりました。

ゆうぎ会

2月、ゆうぎ会を致しました。年少組のお遊戯は、素直に表現を楽しむ姿が印象的でした。年中組は楽器あそびとリズム劇「もう、春ですよ」を致しました。ピアノに合わせて楽器を鳴らしたり、お花や動物などになりきって伸び伸びと表現しました。年長組は「一人で話す」と「ねずみの嫁入り」の劇を致しました。自分の考えをしっかり伝える姿や自信を持って劇に臨む姿に年長組の頼もしさが光りました。1年の成長を感じた1日でした。

伝統遊び

日本古来の伝統遊びをする場面が見られています。特に三学期には各学年で凧製作をして園庭で走り回ったり、室内でお友達と一緒にかるた取りをする姿や自分で色塗りをして仕上げたこまを回そうと挑戦する様子が見られました。また「はないちもんめ」では、異年齢の子ども達が手を繋いで歌ったり動いたり、お友達の名前を呼び合ったりして関係を広げていきました。昔ながらの遊びに触れて楽しむ子ども達の表情も生き生きとしています。

共立祭

共立祭に参加致しました。年少組が「はとぽっぽ体操」、年中組が「くまちゃんの体操」、年長組が「花笠おどり」を披露しました。動物のお面を被ったり、赤い花を付けた笠を被って踊りました。一緒に観賞した共立女子中学高等学校のお姉さまから言葉を頂き、共立祭を満喫することが出来ました。

共立女子大学・共立女子短期大学「公開講座2020」

■研修センター杉並寮講座

杉並の閑静な住宅街に位置する旧学生寮の地で、「医療・健康」をテーマとした講座を予定しています。

日　時	講　師	タイトル
6/6(土) 13：00～15：00	家政学部　教授　　深津　佳世子	生活習慣病にならないために ～自分の体質を知ろう!～
6/27(土) 13：00～15：00	看護学部　教授　　山田　　緑	あなたの心臓は大丈夫ですか? ～自分で治す! 自分で防ぐ!～

■神田一ツ橋キャンパス講座

都心のキャンパスで文芸学部教員による「歴史・芸術」をテーマとした講座内容を予定しています。

日　時	講　師	タイトル
9/12(土) 13：00～15：00	文芸学部　教授　　堀　　新	明智光秀の謎と本能寺の変
9/19(土) 13：00～15：00	文芸学部　教授　　吉澤　弥生	アートの旅に出ませんか

■八王子キャンパス講座

共立女子第二中学校高等学校と共立女子大学・共立女子短期大学が高大連携して実施する講座です。
一般の方もご受講いただけます。

日　時	講　師	タイトル
11/21(土) 13：30～16：30	国際学部　准教授　　西村　めぐみ	社会問題×経済学 ―社会問題をビジネスで解決する ソーシャルビジネス・マイクロファイナンス―

※講座内容は変更する場合があります。

詳細は学園HP(http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/collaboration/open_lecture/)でもご覧いただけます。
お問合わせ・資料請求・申込先　学生課　共立アカデミー　〒101-8437　東京都千代田区一ツ橋2-2-1(共立女子大学・短期大学4号館1階)
TEL　03-3512-9981　FAX　03-3237-2858　　E-mail ka-info@kyoritsu-wu.ac.jp

伝豊臣秀頼所用・紅練緯地草花霞模様肩裾四つ身

共立女子大学コレクション

桃山時代・16世紀末から17世紀初頭

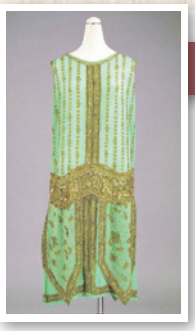
本学博物館に伝豊臣秀頼所用という伝承をもつ子どもの着物が所蔵されています。1990年に、和紙の台紙3枚に糸で裂が縫い付けられた状態で本学の所蔵となったものですが、これが貴重な桃山時代の染織品であり、かつ伝承に背かない様式的な特徴を持つことから、2017年度に総合文化研究所の研究助成を得て、研究とともに復元的修復を行いました。

「四つ身」とは、4、5歳から10歳前後の子供が着る着物で、付属する畳紙に記された墨書によれば、この三枚の裂は、桃山時代の豪商、神谷宗湛が大阪で拝領した豊臣秀頼の産衣の一部であるといいます。畳紙は当初のものではなく、もと有ったものを写したものと考えられますが、今回の研究で、作品に用いられている生地や染織技法、模様の様式から、この四つ身は秀頼幼少期のものであろうという結論に達しました。本学博物館にはこのように貴重な文化財も所蔵されているのです。なお、本作品は、企画展「裂が語る物語」(2020年1月7日～2月14日)において展示されました。

共立女子大学博物館　特別展

特別展「ベル・エポックからモダンへ」

会期：2020年4月23日(木)～5月31日(日)　開館時間：10：00～17：00(土曜13：00まで)
休館日：日曜、但し5/31をのぞく　入館無料
共立女子大学博物館初の西洋服飾作品の特別展示です。
アール・デコ期のイヴニングドレスなどを中心にご紹介いたします。



「イヴニングドレス」1920年代

共立女子学園サポーターズ募金

～伝統を受け継ぎ、これからの共立をサポート～

共立女子学園の教育研究活動の推進のためにご寄付いただいた方に、
「サポーター」として応援いただく募金制度です。

2015年9月より多くのサポーターの方々にご寄付をいただき、厚く御礼申しあげます。本募金により、本学の教育研究環境の充実と整備を鋭意進めているところでございます。学園の教育研究活動の取り組みについては、学園ウェブサイトやこの学園報にてご案内しております。また、奨学資金への募金は、学生・生徒等への奨学資金の原資とさせていただいております。なお、本募金は2020年8月31日までで終了とさせていただきます。引き続きより多くの皆様からのご支援を賜り、教育研究振興資金、奨学資金等の充実を図りたく、ご理解とご協力をお願いいたします。

募金の種類

この寄付は一般の方々に幅広くお願いする任意のものです。寄付の使途は次の2つです。

教育研究振興資金
▶教育・研究・学習環境の整備と充実、教育・研究活動の支援

奨　学　資　金
▶人物・学業成績とも優秀な在学生への支援
▶スポーツ・芸術等様々な分野において優れた活動により成果をあげた在学生への支援
▶経済的な理由のため学業の継続が困難になった在学生への支援、本留学生等への支援

お申込み方法・払込方法のご案内

① ATM及びネットバンキングによるお振込み
学園ホームページより、「ATM・ネットバンキングからのお振込み」画面を選び、入力フォームに必要事項を入力し送信、その後ATMやネットバンキングによりお振込み。

② クレジットカード・コンビニ・Pay-easy決済を利用
学園ホームページより、「インターネットからのお申込」画面を選び、入力フォームに必要事項を入力し送信。
＊クレジットカード決済やコンビニ支払い等の場合、本学園への入金は約2か月後となります。ご寄付の領収日は、申込日ではなく決済代行会社から本学園に入金された日となります。11月以降にお申し込みで、その年の寄付控除をご希望の方は、「①ATM及びネットバンキングによるお振込み」または「③振込用紙でのお振込み」のご利用をお願いいたします。

③ 振込用紙でのお振込み
専用の振込用紙に必要事項をご記入の上、郵便局または銀行窓口でお振込み。募金事務室までご連絡ください。関係書類一式を送付させていただきます。

税法上の特例

個人・法人ともに税制上特例の対象となります。
特定公益増進法人に対する寄付金として、所得税の減免措置を受けることができます。

- 寄付金が2千円を超える場合、超えた金額がその年の課税所得金額から控除されます。
  （ただし、所得金額の100分の40が限度）
  寄付金額 － 2千円 ＝ 寄付金の所得控除額
- 寄付をしていただいた翌年の確定申告期間に確定申告を行い所得税の還付請求をしてください。
  その際、学園発行の領収証と「特定公益増進法人証明書（写）」が必要になります。

なお、法人の方は日本私立学校振興・共済事業団が取り扱う受配者指定寄付金利用制度もございます。
ご希望の場合は、関連書類をお送り致しますので、募金事務室までご連絡ください。

募金応募状況（2015年9月1日～2020年2月29日受付分）

	累計	
教育研究振興資金（目標額1億円）	472件	226,315,110円
奨学資金（目標額5千万円）	160件	27,709,999円
合計（目標額1.5億円）	632件	254,025,109円

募金についてのお申し込み・お問い合せ先
TEL（03）3237-2816（募金事務室）
HP：http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/bokin
募金事業概要、お申し込み方法等は、
下記QRコードによりご覧いただけます。

「サポーター証」キーホルダーを寄付者の方全員へ贈呈いたします。

個人で10万円以上の寄付者の方へは
「プレミアムサポーター証」キーホルダー、
学園ラベル特製高級ボトリングティを贈呈いたします。

寄付者ご芳名

（敬称略・50音順）

法人・団体

百十万円
株式会社エデュース

八十五万円
株式会社吉野家ホールディングス

個人

十万円
田崎多美子
吉田智子

（役員）

五十万円
御手洗康

十万円
川久保清
杉江和男

（教職員）

十万円
村上隆

三万円
河合淳子
田中秀哉

一万円
後藤弘太郎
林真吾
林友里
晴山誠也

一口未満
半沢幹一
深津謙一郎

（卒業生）

二百万円
栗山信子

百万円
下島章子

匿名十六件

計四千四十一万一千円

二〇一九年九月一日～
二〇二〇年二月二十九日分

一口一万円

株式会社エデュース

株式会社吉野家ホールディングス

十万円
田崎多美子
吉田智子

五万円
浅原サチ子

三万円
松浦栄子

二万円
稲田重子

一万円
會田玲子
浦部陽子
小池雪子
手塚テル子
長島圭子
山口彩

一口未満
加納久子
中塚恵美

（その他）

十万円
小林泉次

二万円
森田晃一

共立女子学園 各校のホームページがリニューアル！

学生・生徒・園児たちの日々の学びの様子を、よりわかりやすい形で発信してまいります。
https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/

表紙の写真

幼稚園	中学高等学校
大学・短大	第二中学校高等学校

発行　学校法人　共立女子学園　東京都千代田区一ツ橋2-2-1　TEL 03（3237）2838　E-mail：kohop@kyoritsu-wu.ac.jp
ご意見・ご感想および住所変更は、E-mailでも受け付けます。